

公民館館報

いんぎらあと

公民館館報 第64号
西南部公民館

編集 広報部
TEL 240-8860 FAX 240-8960
(E-mail)
seinanbu-k@spacelan.ne.jp



CONTENTS

社会体育大会、遺跡巡りツアー、女性学級県政バス、文化祭、
町連防災訓練、金沢マラソン、お楽しみバスツアー
特ダネ西南部(子ども会連合会立山登山、八日市出町幸和会表彰、
シニアクラブ連合会活動、西南部中学校合唱部日本一)

平成 30 年9月 23 日(日) 社会体育大会



素晴らしい秋晴れの下、西南部小学校で社会体育大会が開催されました。子どもたちの 100 メートル競走から始まり、最終種目の町会对抗総合リレーまで、各町会一丸となり競技、応援ともに力が入り汗と笑顔がまぶしい一日となりました。白熱した競技の結果、八日市出町町会が昨年に引き続き見事優勝を勝ち取りました。



みんなが集う 社会体育大会、 今日の主役は私です!

優勝 - 八日市出町町会
二位 - 西金沢新町中町会
三位 - 古府南第一町会



社会体育大会に参加して

八日市出町町会長 清水誠

今年は、複数の大型台風が県内や近辺を通過し、また秋雨前線が停滞し長雨が続くなど、天気に恵まれない年でした。準備に奔走されたスタッフの皆さんも気をもまれたのではないのでしょうか。社会体育大会の当日は、これまでにないスカッとした好天となり、無事に実施することができました。この日は、長雨後の秋晴れということもあり、別の場所で開催の運動会が実施されるなど、行事が多い日となっていました。各町会の町会長さんや体育委員さんも、選手集めにご苦労されたと思います。

このような中、私たち八日市出町町会は、昨年に続き優勝することができました。お忙しい中、ご参加いただいた町会の皆さん、そして準備や当日の運営に頑張ってくれたスタッフの皆さんに心から感謝したいと思います。ありがとうございます。

遺跡めぐりツアー

日本三景・天橋立く、与謝野町立古墳公園を訪ねて

国史跡(蛭子山古墳、作山古墳)



八月二十五日(土曜日)、遺跡めぐりツアーが開催され、二十七名が参加しました。



遺跡巡りツアーに参加して

岡田延子(西金沢三丁目)

台風二〇号の影響で、垂れ込める黒い雲を見上げながら朝七時、参加者を乗せたバスが公民館を出発しました。北陸自動車道から舞鶴若狭自動車道に入る頃には薄日が差し始め、最初の目的地、天橋立に到着した頃には空は晴れ上がり、日本三景の一つといわれる絶景を綺麗に見ることが出来ました。天橋立は見る方向から一字観、飛龍観、雪舟観と呼ばれる景観がありますが、今回は傘松公園から見える昇龍観と呼ばれる景色を見てきました。これは股覗きで見ると、まるで龍が天に昇っていくかのように見えることからこのように呼ばれているそうです。黒豆ソフトクリームで涼をとり、美味しい昼食をいただいで、与謝野町立古墳公園へ向かいました。

与謝野町立古墳公園は国史跡蛭子山古墳と国史跡作山古墳を千六百年前の姿に復元整備した古墳歴史公園です。当時のその地域を治めていた王と呼ばれる人達のお墓には、何トンもある石が運ばれ、小高い山(全長一四〇m、高さ一六m)が作られ、大きな「はにわ」が古墳の周りを飾っており、その勢力のすごさを現在も見せ付けてくれています。照りつける太陽で気温も三十六度まで上がる中、はにわ資料館の館長さんに五基からなる中型古墳を詳しく説明していただき、記念撮影をしてバスに乗り込みました。

今回、個人的に印象に残ったのは、古墳が大陸から異文化を持ち込んだ人達のものであるかもしれないというお話でした。

古墳は日本の天皇に係わる人達のお墓だという認識が変わりました。今まで行ったことの無かった天橋立と、教科書でしか見たこと無かった古墳を見ることが出来、とても充実した一日でした。



女性学級 県政バス研修

能美市防災センター↓尾小屋鉱山資料館↓料宮竹用水第 発電所

女性学級 学級長 上井美枝子

(古府南第二)

十一月二日(金)

県政バスで、県や市町の施設を見学しました。どの施設も大変興味深く見学できました。その中で能美市防災センターは、まだ出来て一年らしく建物や施設の中はとてもきれいでした。一階には、皆が一番興味のある地震体験コーナーがありここで



は震度七の体験や能登半島沖地震、東日本震災、阪神淡路大震災等の揺れ方の違いなどの体験をしました。

三階には煙避難体験、強風体験、初期消火体験、通報体験コーナーがありそれぞれの説明を聞き体験しました。特に強風体験室では立ってられないとされている風速三十メートルまで体験し、最後に四階で3D映像を見て見学を終えました。

今回は体験なので余裕がりましたが、現実には突然揺れたり危険な物が倒れてきたりと思ってもかけないことが沢山あります。この体験を生かさなければならぬ時が来ないことを願いながら防災に備えておこうと思いました。

十月二〇日(土)と二十一日(日)の二日間、西南部公民館文化祭が開催されました。天候にも恵まれ、特に屋外イベントも行われた二十一日(日)は、天高く爽やかな青空の下で開催することができました。

今年の文化祭のテーマは「食とリズムでつながろう! く絆」。ホールでは、地域の皆様による多数の作品展示、屋外では飲食コーナーをはじめ、ステージでの演奏やダンスなど「食」と「リズム」が融合した文化祭となりました。

また、近年ではバルーンアートや射的コーナーなど、子どもたちも楽しめるコーナーも設けていることで、若い世代の来場者も増え続けてきており、子どもから大人まで楽しく過ごせる文化祭になってきたと感じています。

文化祭は、地域の各団体の方々のご協力と「絆」を深め合ってこそ開催できるものだと思います。今回もたくさんのご来場者をはじめ、作品出展・ステージにご出演いただきました方々、開催にあたりご協力・ご参加いただきました各団体の方々にご心より御礼を申し上げます。



祭 つなごう!



水田さん



カラオケ教室



2F 作品展



金沢高校 吹奏楽部



フラワーアレンジメント教室



パソコンサークル



西村さん



バルーンアート



文化 食とリズムで 絆



子ども会連合会



社会福祉協議会



婦人会

初めての参加!!

よさこいチーム「美遊来座」

高桑美由紀(西金沢三丁目)

「セイハツ!」「ヨイヤッサー」
鳴子のバチの音と共に大きな声を出し、よさこい節のメロディに合わせ踊る。秋晴れの下、吹く風も心地好い。同じ町会の人達が応援してくれていつも以上に気合も入りました。

昨年十二月にボランティア演舞を中心とするチーム「見遊来座」を結成し、デイサービスやケアセンターで活動していますが、公民館の文化祭で踊るのは初めてでした。

見遊来座のメンバーは西南部校下の人が多く、ご近所さんや友達が見に来てくれて、「良かったよ」「素敵やったわ」と嬉しい言葉を掛けてもらいました。皆さん優しい。

メンバーは仕事、子育て、親の介護等で忙しい中、時間を作って練習を重ね、自分たちも楽しく、そして、見てくれる人達も元気になってもらえる様な踊りを目指して頑張っています。

来年も又、みんな揃って元気に踊れますようにと願うばかりです。

お世話してくださった公民館の皆様、本当にありがとうございました。



よさこいチーム「美遊来座」

西南部校下防災訓練



土嚢づくり体験

防災訓練

防災委員長 小山 均(新保本)

十一月四日(日)に防災訓練が行われました。金沢市消防局、金沢市役所内水整備課の方々のご協力のもと、土嚢づくり体験、起震車体験、スモークテント体験、はしご車体験を実施しました。目的は、防災についての関心を高めるとともに、防災知識を深めていただくことでした。参加者は各町会から一〇名程度、全体では約一四〇名でした。

土嚢づくり体験では、「砂を入れすぎると運ぶ時に苦労する」や「積み上げ方に工夫が必要だ」などの感想がありました。起震車体験をされた方の中に、大地震を経験された方がいて、「実際の地震はもっと揺れが強く、怖く感じた」と語っておられました。今回の防災訓練は、多く

の方々にとって、貴重な体験になったのではないかと思います。ご協力いただいた関係各位の皆さま、ありがとうございました。

今年、冬の大雪に始まり、地震や台風といった災害がとも多い年でした。九月には台風のために、西南部小学校が避難所となり、実際に三十四名の方が避難されました。

この避難所の開設を通して、トイレや非常食などについて、多くの問題が明らかとなりました。昨年度の防災訓練で「避難所を運営するのは、その町会の皆さんです」という言葉を思い出し、今後、災害時に動くことのできる地域防災組織づくりを進めていかなければならないと感じる機会となりました。



起震車体験



家族で話し合い、家族で情報提供を……!



はしご車体験

西南部校下防災訓練に参加して

コミュニティ防災士

道下 仁(新八日市出町)

十一月四日(日)小雨がパラつく中、スモークテント、梯子車、起震車の試乗体験、土嚢づくりをA・Bの二班に分かれスタートしました。梯子車を体験できたのは各町会四名ということで残念ながら体験できませんでしたが、スモークテントでは身を低くし、身近な物で口を塞ぎ慎重に非常口を見極め行動する事の大切さを学びました。

起震車体験では、事前に震度、秒前予告されていてそれなりの心

構えができましたが、あの地震がいきなり起きた時にはどうすれば自分の命を守るかを想定しておく必要があると痛切に感じました。土嚢づくりでは、土嚢紐の結び方で口綴じが緩み解けてしまうことや、転落防止用のもやい結びの方法、浸水防止のための防水シートの折り返し置きと土嚢の積み方を体験し、財産と自分の身を守る方法を学ぶ事ができました。

今回の訓練に子ども同伴で参加されている家族の方も多数おられました。子どもさんに経験させる事は大切で、小・中学生・高校生の参加が拡大し広く全世代に浸透して行く事を期待したいです。

家族で家の中の危険箇所の点検をし、家具や家電等の転倒防止がされているか、地震発生時に自分の身を守る方法、安否確認方法、非常持出し備品がどこに置いてあるのか、地震発生時間帯(早朝・昼間・夜間)を想定し話し合い共有しておく事で家族参加の意義がより深まると感じました。

また、避難所も、普段の生活に近い環境づくりをする等、対応策や運営方法も少しずつ変化してきています。こうした変化を学び、地域に情報提供していただけるよう努力して行きたいと考えています。

金沢マラソン

西南部 応援スポット運営！ ランナーも多数参加！

十月二十八日(日) 第四回金沢マラソンが開催されました。広坂通りらしいのき迎賓館前からゴールの石川県西部緑地公園陸上競技場まで、小雨のばらつく金沢を三、〇四九名のランナーが駆け抜けました。今年もアテネオリンピック金メダルの野口みずきさんを始め、エリック・ワイナイナさんなど沢山の大会ゲストの方々が、大会を盛り上げてくれました。

西南部地区からも、沢山のランナーが参加しました。ゴール手前の応援スポットでは、今年も西南部が当番地区として会場の設営・運営に尽力し、ラストスパートを後押ししました。

参加されたランナーの皆さん、運営、応援に携わった皆さん、お疲れ様でした。

初のフルマラソン 金沢マラソンを終えて

応援スポット19事務局長

坂下孝司(西金沢四丁目)

今年の金沢マラソンは、七時間の制限時間内に対して出走者の九十七%が完走したそうです。沿道には十九カ所の応援スポットが設置され、今年も西南部校下が応援スポット19の会場を担当することになり、六月ごろから企画準備してきました。場所は産業展示館一号館付近のフィニッシュ目前で、応援時間が非常に長いスポットでした。当日の天気は弱い雨が降り気温は十六度と寒い日でした。朝、公民館より用具や荷物を積み、いざ会場へ。用具を配置しましたが、大勢の人が出入りする場所で、車の誘導や応援者の通路

確保にもスタッフを配置しました。

ランナーが入ってくると、応援スポット周辺は大きな声が響き、チカモリ太鼓も一段と熱のこもった音で力走を後押ししました。応援スポットでは西南部、三和、安原、二塚、米丸、新神田、押野の七校下が順に出演しヒップホップダンス、豊年太鼓、キッズダンス、和太鼓、米丸小学校合唱団、高岡中学校吹奏楽部、押野応援団、西南部婦人会など特徴のある応援が行われました。

スタートから六時間五十分になっても多くのランナーが入ってくるので、時間通り終わるか気になりましたが、誘導車より終了の合図があり安堵しました。競技終了後、用具を撤収してトラックに積み、公民館倉庫に収納。十六時四十分を終了しました。正味八時



間と長時間の活動でしたが、総勢四十名のスタッフを動員し、西南部校下を挙げての対応としたおかげで大きな問題もなく会場運営はスムーズに行われました。

これもスタッフの皆様のご協力のおかげです。厚く御礼申し上げます。

初のフルマラソン

石戸谷政幸(新八日市出町)

生まれて初めてのフルマラソン。学生時代も今も全く運動をしていない私としては四二・一九五キロメートルは未知の距離でした。過去に参加した西南部校下の知人から、何度もお誘いを受けていたのですが、

ずっと断っていました。今回は何かの気の迷いで、募集最終日に携帯から参加のボタンをポチッと・・・知人達が抽選に漏れたのを差し置いて、まさかの当選。慌てふためきました。本番まであと僅か。練習時間が少ない。しかも九月は仕事上とても忙しい。とてもヤバイ・・・

知人から金沢マラソンはMAX七時間なので半分を走り切れれば後半は歩いても良いとのアドバイスを頂き、ハーフを休まずに走れる身体作りを早速開始しました。しかしそう簡単にはいかず、残り二か月でやっと初めてのハーフ！次の日、筋肉痛で仕事にならず・・・を繰り返しての本番。最後尾からのスタート。焦らずマイペースを心がけました。応援もあり何とか半分までは走り切りました。途中のラーメンやカレーが美味しかったです。三十キロメートル以降は足の疲労がピークに！

しかし、最後の最後に西南部のみなさんのハイタッチに励まされ、六時間四十分でのゴール！！スタッフ・応援してくれた方々に感謝。ありがとうございます！とても良い経験になりました。



子ども会連合会「秋のつどい」

立山登山

何回登っても楽しい立山

新田悠人(古府南第一)

ぼくは、9月15日(土)子ども会で立山に登りに行きました。山の天気は雨で風も強かったです。天気が悪かったので、ちょう上の一つ手前の小屋までしか行けなかったけど、そこでご飯を食べ、その小屋でココアを飲むと体が温まりました。下山するときは、雨で地面がすべりやすくなっていました。風もとても強くなっていました。帰りのバスの中ではお笑いやアニメのビデオを見ました。

立山は10回くらい登ったけど、今回の立山登山も楽しかったです。



室堂にて記念撮影



お楽しみバスツアー

お楽しみバスツアーに参加して

文化教養部 山内亮佑(新保本第三) 紳士淑女青少年少女と個性豊かな町内の方達、そして愉快なガイドさんに乗せたバスは名古屋へ向かって出発。道中は文化教養部による〇×クイズ、名古屋の豆知識も含まれ盛大に盛り上がりました。 最初の目的地、名古屋市科学館では、天文現象や宇宙の膨張といった天文学的な内容をプラネタリウムで学びました。 続いて、えびせんべいの里へ到着。皆試食コーナーへまっしぐらでした。昼食後ですが、別腹でした。



地域清掃活動を続けている八日市出町「幸和会」が、「いいね金沢環境活動賞」を受賞しました。おめでとうございます。

特ダネ 西南部

日頃の活動が評価

家族連れの方は大きな海老煎餅を作っており、子ども達は嬉しそうに煎餅に絵を書き、楽しそうな様子でした。 最後はミツカンミュージアム。酢作りの歴史や食文化の魅力などに触れました。ミツカンのロゴマークの三本線は、「味」、「きき」、「香り」を表し下の〇はそれらを「まるくおさめる」という意味が込められているそうです。 帰りの道中ではビンゴなどのイベントもあり、とても楽しく有意義に過ごせました。 参加した全員と運転手さん、ガイドさん、そして全ての方々に感謝!

編集後記

大きな出来事があった二〇一八年が暮れました。新しい二〇一九年には消費税のアップが予定されています。二〇二〇年には東京オリンピック。何事もない穏やかな年なんて無いかもしれません。平穏な年を祈る年の暮れです。

西南部中学校合唱部が、第七十一回全日本合唱コンクール全国大会(全日本合唱連盟、朝日新聞社主催)の中学校・同声の部で最高賞の文部科学大臣賞に輝きました。石川県初の快挙です。 地域を挙げてお祝いしました。

西南部中合唱部日本一に

春の花に衣替え

シニアクラブの皆さんに、公民館前の花壇の植え替えを行っていただきました。ありがとうございます。